



## 第1回学校運営協議会開催

平成30年4月、森田養護学校は、青森県立学校のなかで初めてのモデル校としてコミュニティスクールに認定され、この活動も今年度で3年目を迎えました。去る5月21日（木）に令和2年度第1回学校運営協議会が開催されました。従来は学校で行われていた会議ですが、コロナウイルス感染症対策のため、学校からほど近い場所にある「森田町大館地区コミュニティ消防センター」を会場に行われました。



校長が今年度の学校運営の基本方針を説明しました。

今後、教職員だけではなく、地域の方々や保護者の方々からの支援もいただきながら、子どもたちの成長を後押ししていきたいと思います。第2回目の協議会は7月に予定されています。今年度末に行われる学校評価の内容について全員で話し合うことにしています。

第1回の会議の目的は、今年度の委員の顔合わせと辞令の交付、校長からの今年度の学校運営の方針説明、年間活動計画の説明、そして委員の方々による質疑、承認です。校長からはスライドを用いて学校運営方針の説明が丁寧になされました。また、年間活動計画については、コロナウイルス感染症により、活動が大幅に制限されている現状と今後の見通しについて報告されました。いずれも委員の方々から承認をいただき、今年度の活動が本格的に動き出すことになりました。



真剣に説明に耳を傾ける委員の皆さん

### コミュニティスクール（CS）って何だろう？

コミュニティスクール（略してCS）では、校長が作成する「学校運営の基本方針の承認」を通じて、学校運営のビジョンを校外の人と共有します。保護者や地域住民の意向を学校運営の方針に反映することで、地域住民も学校運営に対して責任を負っているという自覚と意識を高めることができます。また、そのような自覚によって、より学校運営を応援しようという気持ちが高まりやすくなります。「**地域全体で子供を育てていく**」という意識が芽生えていきます。また、地域の支援活動によって教師の負担を軽減することが可能です。さまざまな効果が期待されていますが、本校の活動には、今後に向けてまだまだ多くの可能性が潜んでいると思われます。今年度もその可能性を探るべく、一步一步前へと活動を推進していきたいと考えています。

## 令和2年度 学校運営協議員・学校評議員紹介

	氏名	勤務先・職名等
1	工藤 卓也	青森県立森田養護学校PTA会長
2	天海 丈久	国立大学法人弘前大学教育学部准教授
3	島谷 淳	五所川原市観光協会常務理事
4	角田 周	企画集団ラプリー金木代表
5	鶴賀 善宏	森田地区自治会長連絡協議会会長
6	工藤 道子	青森県立森田養護学校前事務長
7	木村 琢生	青森県立森田養護学校校長
8	野呂 公	西北五広域福祉事務組合 障害児入所施設森田学園園長
9	其田 真一	青森県発達障害者支援センター「わかば」センター長
10	三浦 秀仁	社会福祉法人健誠会障害者就業・生活支援センター月見野所長
11	齋藤 晃	つがる市商工会事務局長・車力支所長
12	館山 祥史	つがる市立森田小学校PTA会長

地域のなかで、さまざまな役割を担っておられる方々に本校の学校運営に対するさまざまな助言や支援をいただきながら日々の教育活動をすすめていきます。また、同時に児童生徒も地域に何らかの形で貢献できるように、活動の幅を広げていければと思います。

委員の皆さま、1年間どうぞよろしくお願いいたします！



## 「ひまわり応援隊」第3回支援活動報告



第1回学校運営協議会が行われた5月21日（木）の午後、4月に発足した「ひまわり応援隊」の第3回目の支援活動が行われました。今回は地元大館地区から3名の方が花壇整備を行いました。また、本校の保護者も加わり、つがる市立図書館から児童生徒の希望図書を含む150冊を超える本を借りてきていただき、それぞれの学部のブックスタンドに仕分けをしていただきました。市立図書館との関係は今年度本格的にスタートし、これから定期的に行われていくことになります。子どもたちには、たくさんの本にふれて欲しいと思います。応援隊の皆さん、ありがとうございました！

